

2013年4月10日

特定非営利活動法人
動物実験の廃止を求める会(JAVA)
理事長 長谷川 裕一 様

拝復

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
ご送付いただきました「2013年化粧品等の動物実験に関する公開質問状」に関しまして、弊社の考え方を回答申し上げます。なお、誤解のないようお伝えさせていただくために、ご指定の書式ではなく下記文章にて回答させていただきます。

化粧品は人体に直接使用するものでありますから、製品の安全性の確保は企業として取り組むべき最優先の課題であると考えています。
お客さまに安心してご使用いただける化粧品を提供させて頂くことは、私どもメーカーとしての責務であり、弊社はその為の十分な安全性確認を行っております。

一方、動物愛護の観点から動物実験代替法の開発は世界的な課題となっており、世界の研究機関が国や企業の枠を超えて研究・開発に取り組んできています。
弊社もこれに参画し、動物実験に頼らない方法で安全性確認できるよう動物実験代替法の開発及び利用に、積極的に取り組んでおります。

このような背景から、弊社では製品の安全性確認に際し、各国行政当局から法的に求められる場合を除いて、既に動物実験は実施しておりません。弊社では、既に文献等として報告されている安全性データを広く収集、利用すると共に、弊社における今までの知見を含めた情報データベースを構築しており、これらのデータベースを元に、動物実験代替法及びヒトによる実使用レベルでの試験を組み合わせ、製品の安全性を確認しています。

今後も、お客様に安全な製品をお届けしていくために、一日も早くより優れた動物実験代替法が開発されますよう、一層積極的な役割を果たしていくよう努力してまいります。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

株式会社カネボウ化粧品
コンシューマーセンター